



2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS  
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

# 修練

会長 清水 茂彰

## ■プログラム (プログラム委員会)

### 「バードハウスが繋ぐ鳥と人」

NPO法人フェザードフレンド 理事長 新津 秀幸 様



ご紹介いただきました新津秀幸です。今日はよろしくお願ひします。

私どもの活動をご理解いただき、本日のお招きをいただき大変感謝しております。

「バードハウスが繋ぐ鳥と人」というテーマが皆様の普段の生活に役立ち、野鳥と人が共存できる社会実現ができることを願っており、活用できるように説明させていただきます。

私たちの活動は2005年に始まり「日本でも珍しい活動である」とNHKの取材を受けました。はじめに、そのビデオをご覧ください。

いかがでしたか？私たちは小学校でバードハウス製作会を開いていますが、それを実施する前に事前学習会としてバードハウス教室を開いています。

今日はバードハウスを持ってきていますので皆さん手に取って見て下さい。そして、ご質問があれば最後にお聞きします。

それではバードハウス教室ということで始めさせていただきます。

今日は4つのテーマでお話しします。

1.INAXのバードハウス展、2.小学生のバードハウス、3.フェザードフレンドについて、4.バードハウスの歴史。で進めさせていただきます。

バードハウスは芸術性の高い巣箱として、海外ではインテリアとしても好まれ、生活の中に潤いを与えるものとなっています。人と野鳥にとって最も良い距離を保ち、自然とのかかわりを深めるためのデバイスと私たちは考えています。

2006年、バードハウスをテーマに活動しているグループはないかとINAXさんの取材を受け、この本が発売され、この本とともにバードハウス展が大阪から始まりました。続いて名古屋、東京と各3カ月ずつ、計9ヶ月間バードハウス展が開かれました。この本の表紙は帯広の啓北小学校で作成したバードハウスが高速道路サービスエリアに飾ってある写真です。裏表紙は池田小学校のバードハウス製作会の時の写真です。目次には中札内小学校の製作会の時の写真が使われています。

私たちの会員が作った作品には北海道をモチーフにして、時計台、サイロ、トラピスト修道院などをテーマにしたものがあります。

次は帯広西小学校の児童が作ったバードハウスが高速の平原サービスエリアに置かれ、野鳥たちが利用しています。

私たちのフェザードフレンドは自然科学の面を帯広畜産大学の柳川先生に、芸術面については北海道東海大学の織田憲嗣先生、建築部門については北海道東海大学の犬矢二郎先生のご指導を頂きながら制作活動をしています。

サービスエリアに設置したバードハウスの営巣率は50～80%とかなり高い使用率になっています。

そしてその活動が高速道路会社に認められ、2009年の古冠インターが開始された時に子供たちが呼ばれ、穂別・夕張・古冠の小学生へバードハウスを手渡しして交流を図りました。先方からは市町村木の苗木を頂きました。

世界にバードハウスの本は150冊ほどありますが、日本には8冊ほどしかありません。「小鳥を呼ぶ家」が日本における最初のバードハウス入門書といわれています。帯広図書館にも配備されていますので是非お読みください。

続いて「フェザードフレンド」についてご説明します。「フェザードフレンド」の「フェザード」は「羽を持った」、「フレンド」は「友達」。「羽を持った友達」という意味です。アメリカでは私たちの家や公園にいる小鳥たちのことを「フェザードフレンド」と呼んでいます。

バードハウスの歴史を紐解きますとドイツから始まったといわれています。1905年、ドイツのゼーバッハ地方で木の葉を食べるハマキ虫がたくさん発生し、森の木が全部食べられてしまいました。しかし、自然を愛し、野鳥の保護活動をしていたベルレプシュ男爵の果樹園だけは野鳥が虫を食べたので被害はありませんでした。男爵は小さい時から自然が大好きで、庭には野鳥たちが雛を育てる巣箱「バードハウス」、いつでも野鳥たちが餌を食べることができる餌台「バードフィーダー」、水を飲んだり水浴びができる小さな池「バードバス」を作り、ここで生まれ育った野鳥たちがベルレプシュ男爵の果樹園や森で木の葉を食べるハマキ虫から守ってくれた。この話を聞いたのは日本で最初に巣箱をかけた内田清之介博士で、日本でのバードハウスの提唱者となっています。

アメリカのバードハウスはヒョウタンで作られています。アメリカの先住民のインディアンは野菜を食べしまう毛虫を食べしてくれる野鳥たちのためにヒョウタンでバードハウスを作りました。イギリスからやってきた開拓者たちもインディアンに学び、ヒョウタンでバードハウスを作りました。現在もヒョウタンのバードハウスは使われていますが、時代とともに装飾的になり、野鳥が憩いの場所として使われていますが、時代とともに装飾的になり、野鳥が憩いの場所として使われていますが、時代とともに装飾的になり、野鳥が憩いの場所として使われています。ただでいいだけではなく、庭のアクセサリとして美しく楽しいバードハウスに変化してきています。広い平野で生活する開拓者の農民たちの野鳥は家族の一員でした。農民たちは寒い雪の多い冬は農作業ができないのでバードハウスを作り、春を待ちました。農民たちは春になるとやってくる野鳥たちを「フェザードフレンド」「羽のある友達」と呼びました。広い平野の中で生活する農民にとってフェザードフレンドはたった一人の友達でした。フェザードフレンドは農民たちを慰め、そして畑の虫を食べてくれました。ヒョウタンのバードハウスを作った農民たちはやがて故郷のイギリスの懐かしい我が家や教会、西部開拓を象徴する幌馬車などをテーマにしたバードハウスを作りました。最初は古材を使った単純なものでしたが次第に人間の生活に密着したデザインをテーマにし、技巧的なバードハウスに変化し、やがて農民芸術となり、使い古されたバードハウスは都会で生活する人たちのインテリアとして愛されるようになりました。現在のアメリカのバードハウスは色も形も自由自在です。大人も子供も自宅の庭や公園に楽しいバードハウスを掛け野鳥とともに自然を楽しんでいます。

信仰の自由を求めてアメリカに渡ってきた農民たちにとって教会は心の支えでした。かつて動力として農業を助けた風車、湖の周辺に航海のために設けた灯台、牛や豚などの家畜。あらゆる生活の身近にあったものがバードハウスのテーマになっています。アメリカの人たちは日本人のように細かいところまで実物そっくりには作ろうとはせず、大まかなデザインのバードハウスを作ります。そして、太陽に晒

され風雨に晒されフェザードフレンドが使うことによって、人間の手ではできなかった美しいデザインのバードハウスが出来上がります。自分の手で作ることがバードハウスの楽しみの一つです。11月から12月の初めにかけてそれぞれのコミュニティーではギフト商品のバザールを行い、そこで一般の人たちが作った美しいバードハウスが飾られ、バザールのメイン商品の一つになっているのが、アメリカの現状です。

カナダでは、バードハウスは木に掛けると思われがちですがフェンスの支柱にずらりと並べられています。この方式は十勝の平原サービスエリアの下り線に展望台に向かうところにカラフルな色合いで並んでいます。

続いてドイツです。ベルレプシュ男爵がいたドイツでは研究が続けられ、現在ではおがくずを利用したコンクリート製のバードハウスが公園に使用されています。このバードハウスは重いのが壊れにくい、掃除がしやすいという優れモノです。園芸店ではバードハウスを店の外や壁に飾り見せていますが、木で作られたものは少なく、おがくずとコンクリートで作られたものが多いようです。また、陶器でできたバードハウスもあります。このバードハウスは木などに吊るす、吊り下げ式のバードハウスで底の部分が蓋になっていて開けることができます。

イギリスではバードハウスを「ネストボックス」というのが一般的です。自然の素材を利用したものが多く、松の木を使いワラ葺きの屋根の田舎風で、ラステックなデザインが見られます。バードハウスはイギリスのガーデニングの重要なアイテムになっています。

スウェーデンでは2004年12月にストックホルム市の街中の交通標識に3人のアーティストがデザインした72個のバードハウスが掛けられました。「交通標識の上にバードハウスなんてとんでもない」と心配されましたが、市民からは好感をもって迎えられ、このことが原因での事故は1件も起きていないとのこと。スウェーデンは北海道と同じく寒い国です。街中の交通標識の上に作られたバードハウスはフェザードフレンドにとって寒さを凌ぐために大きな役割を果たしています。スウェーデンを含めた北欧三国は12月になると、日本のお正月の松飾のように各家庭の玄関や庭先に麦の穂を束ねて飾ります。これはフェザードフレンドに皆で餌を与えようと呼びかけの行事です。

これらが海外での事情になります。

次に、フェザードフレンドと友達になるために3つの大事なことがあります。

第一、「愛情」。フェザードフレンドに対する皆さんの愛情です。フェザードフレンドは寒くないか、お腹はすいていないか、いつでも温かく見守ってあげることです。

第二、「忍耐」。我慢することです。「バードハウスを掛けたのに全然使ってくれない」と怒る人がいますが、我慢強くフェザードフレンドが使ってくれるまで待つことです。

第三、「継続」。続けることです。餌を与えても三日坊主ではダメです。毎日、吹雪の日も大雨の日も絶えず餌を与えることです。写真はアメリカの子供が手から餌を与える「ハンドフィーディング」です。十勝でも体験ができるコースがあったのですが、そのことが知れ渡っていくとどうしても触ってしまう子がいます。そうすると、鳥たちは来なくなってしまうのが現実です。

今年の2月16日の読売新聞の全国版に掲載された記事です。子供たちと一緒に作ったバードハウスが高速道路に飾られてる様子が紹介されました。児童と行うバードハウス教室が新聞などで紹介されることにより、多くの人にフェザードフレンドを身近に感じ、知る機会が生まれています。野鳥保護といえばタンチョウやハクチョウ、ガン、カモ類など渡り鳥に関心が向きがちですが、毎日身近にいるシジュウカラやスズメなどの保護も忘れてならないという想いで私たちは日々活動しています。

この後はビデオで子供たちの作ったバードハウスがどのように使われているかを見ていただきます。

本日は私たちの活動を聞いていただきありがとうございました。

## ■会長報告



清水 茂彰会長

皆さん、今日はあいにくの雨の中、多くの皆様の出席ありがとうございます。

5月13日から31日までの間で情報集会が開かれていますので、その中で今年度に関する事、次年度に関する事など、自由にお話しになっていただきたいと思っていますので、どうかよろしくお願ひします。

また、5月30日、IMが開催されますが、理事会において何とか全員登録の願ひをしているところですので、よろしくお願ひします。

例会は、繰り上げとか繰り下げになっていませんので、IMに出席してメークアップしてもよろしいかと思ひます。

5月22日、5RC対抗ゴルフ大会が行われました。その中で団体は3位でしたが道会員が個人優勝を致しましたので報告いたします。

## ■会務報告

渡辺喜代美 幹事

(1)RI第2500地区第6区【IM】開催のご案内

日時 平成22年5月30日(日)

《タイムスケジュール》

登録受付 13:00~13:30

会 式 13:30~14:20

特別講演 14:30~15:40 PG小野 哲様

講 演 15:50~16:50

閉 会 式 16:50~17:20

友情の宴 17:30~19:00

場 所 北海道ホテル

※尚、帯広西RCは5月27日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広北RCは5月28日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広南RCは5月31日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広東RCは6月1日(火)の繰上げ例会と致します。

(2)帯広西RC、移動例会開催のご案内

日時 平成22年6月3日(木)午後0時30分

場 所 棟岩佐 建設廃棄物中間処理場(西24条南6丁目5-16)

(3)帯 広RC、移動例会開催のご案内

日時 平成22年6月9日(水)午後0時30分

場 所 カールプレックスおびひろカーリングホール  
(稲田町東1線121-12 帯広工業高校隣り)

## ■委員会報告

・ロータリー財団委員会 野村 一仁 委員長

マルチプル・ボールハリスフェロー受賞

中田 隆三 会員 8回目 奥原 宏 会員 4回目

渡辺喜代美 会員 3回目 中森 保 会員 2回目

合田 倫佳 会員 1回目

・出席委員会 中森 保 委員長

5月26日例会の報告

会員総数 94名(内免除会員8名) 出席者数50名

5月12日例会

メークアップを含む出席者数および出席率69名 80.2%

・ニコニコ献金 河合 博 親睦活動委員

道 吉見 会員

22日、開催された5RCゴルフ大会で優勝しました。ダブルペリア、バンザイ!

## ■ご誕生祝い

佐藤 睦浩 会員

## ■配偶者様ご誕生祝い

佐藤 睦浩 会員

## ■次週プログラム

6月2日「ボルドーワイン・パブル」 (プログラム委員会)

講師 (社)ソムリエ協会ワインアドバイザー

(有)久楽屋 上田 眞理様



↑携帯サイトが  
できました。  
バーコードリー  
ダーで読み込む  
事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一

竹川 博之・柁安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihoro-rc.co.jp